

頼光の秘密の

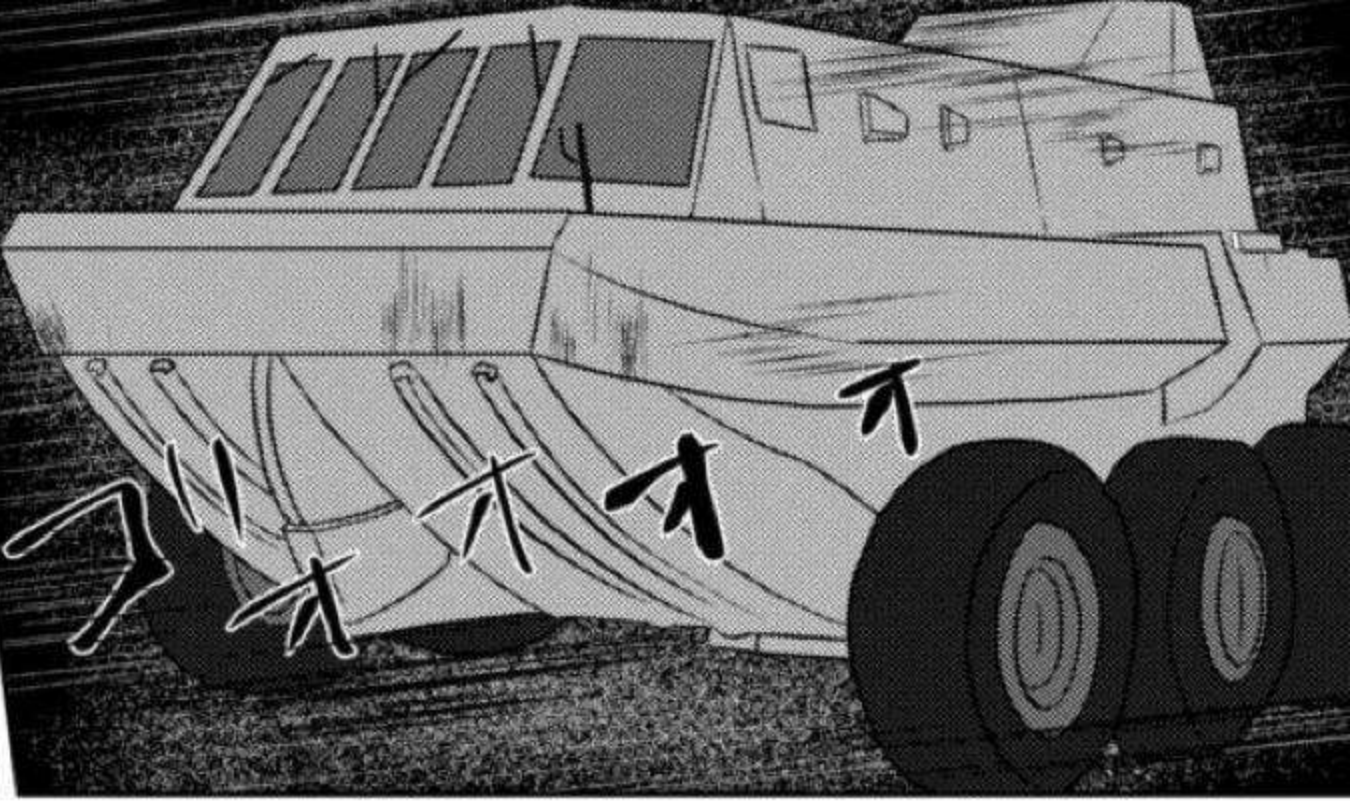
虚数

潜航



Fräulein

R18



ゴウシ

ゴウシ

ゴウシ





——いつも先陣で戦って
守ってくれた頼光さん



いかがしましたか？
マスター？

それでも

ママ、俺、
がんばったよ



でも、もうここには
いないんだ……

頼光サン、
これも大将の為だ
仕方あるまいよ……

母はマスターを一人
置いて、安寧の地に戻るなど
そんなことは……!!



夢の中でなら……

だから……

ふふ、甘えたく
なったのですね



母のお乳です。
どうぞ♡

頼光ママが……？
いや、そんなはずは——



ママ……

そうだ、これは
夢の中なんだ。

だから、甘えても
いいんだ……!!

おっぱい♡



ああ、赤子のようにこんなに
一生懸命吸うなんて……



乳を吸う夢を
見ているのではね。
母がおらず、
不安だったのですね。

ママ、ママ……



マスターが私の乳を吸って
男性器を膨らませて……？



ですが、この仮初の身を
維持する為には、
マスターの魔力が
必要……即ち



世界を救う重い責を
背負っているとはいえ、
マスターはまだ少年、
私がしっかりお世話を……

マスター、
いい子いい子
です♡





しかし、これも母であれば
受け入れなくては……!!



こんなの、私でも
我慢など……!!



これが、マスターのお味……
いけません、ご禁制です!!

ぐまお……♡



私が息子^{マスター}を癒やし、
鎮めるのです。
母として……!!

ら、頼光ママ……ッ!



うん、ママ……
もっと……

ま、マスター、
こ、これはですね、
マスターの為に

ん……
頼光ママ……？



ピキッ
ピキッ
ピキッ

ピキッ
ピキッ
ピキッ



まだ、眠りから覚めて
いないのですね……？



マスター、やはり
お乳が気になるのですか？

ごめんなさい

おっぱい



ウッ……



では、母のお乳で
包んで差し上げます♡

おっぱい♡

ぐっ
ぐっ
ぐっ
ぐっ



ふわあああ♡

おっぱい♡
おっぱい♡



いかがですか？
母のお乳は

おっぱい♡
おっぱい♡

おっぱい♡

おっぱい♡

おっぱい♡
おっぱい♡

むら

キラ



さあ、我慢なさらず♡

し、舌がア……ッ



ははは

ははは



ははは

ははは

ははは





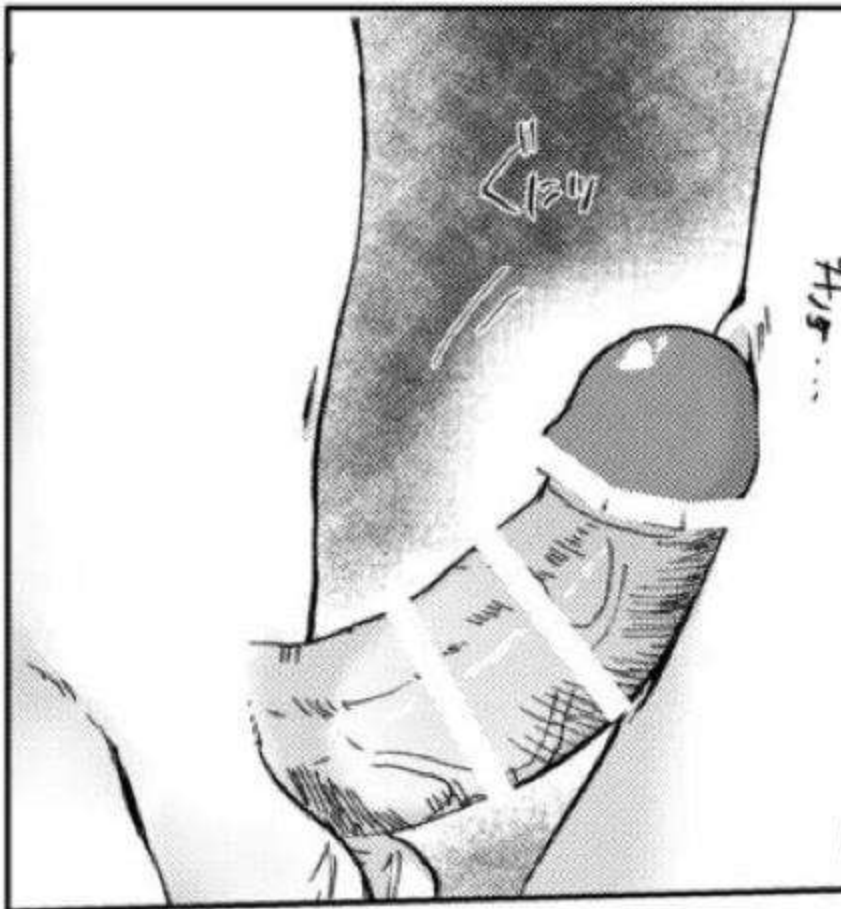
こ、こんなの
眠れるわけが……

ちゅっ♡♡



さあ、今宵は
母の中でお眠りください

ちゅっ♡♡



ちゅっ……



ちゅっ♡♡

ちゅっ♡♡



母のこづきさ



それとも
まだしますか？

ちゅっ♡♡



あっ♡マスター、
母のお乳が
恋しかったのですね？

あー

んっ

あー

んっ

あー

んっ

あー

んっ

あー

んっ

あー



あっ、赤子みたい……
んっ♡

スッ

スッ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

母の愛とは世の理に勝るもの。
我が子にこのように
求められては、母はもう
それに応えるしか……。



ま、マスター……



直接、マスターの魔力を
いただけますか？

いいんですか……？

はい♡
マスターを守る
ためですから♡

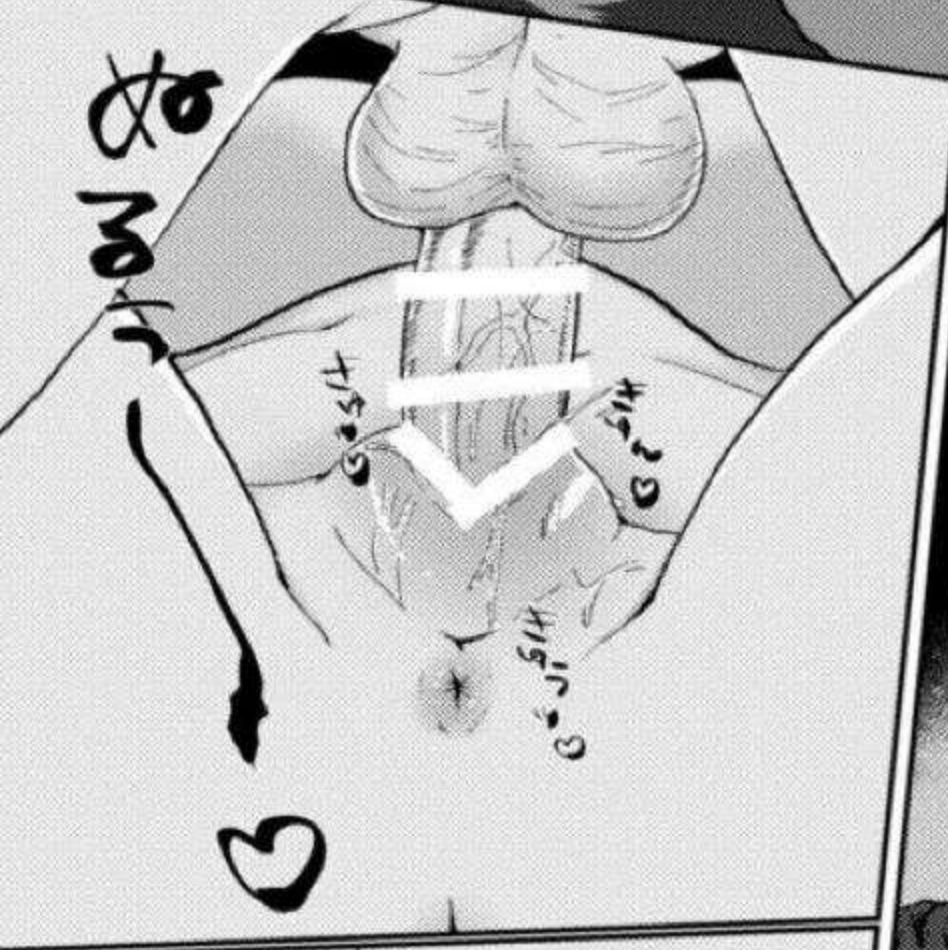


ななかに
はいつて……



ら、頼光さん……!!
気持ちよくて、
止まんないよ……!!

先程のように、
ま、ママと……!



お
る
ん

はい♡
ママですよ♡

ら、頼光、ママ……



ド
キ
ン





応えたくなくなってしまうのが
母の性でバグ、ンまあ♡

♡
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

♡

♡



マスター♡
まだ母に甘え
足りないのですね♡

ママ♡



ああ……♡リマスターの力強い精液が、
私の子宮を駆け巡っています……♡
これこそが、母の悦び

おっ
おっ
おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ



あぁっ♡ マスターっ♡
いけません、それは……ッ
お、奥までッ♡

頼光ママ♡
頼光ママ♡



母の愛をその身で
受け止めてください♡

もう離さない
ですからね♡

マスター♡
マスター♡
母はマスターを
愛しております♡



ふふ、やはり乳が
好きなのですね♡

今度は我慢せずに、
びゅっびゅとなさってください♡

うう、頼光ママ……♡

02:42







マスター、
どうぞこちらへ♡



えっと、カルデアの
召喚手続き無しに、
単独顕現した……？
できるの？



私、あれからずっと考えておりました。
どうすればマスターを守れるのか。

そしてホームズ様の策を拝見して、
私は思い至ったのです。
『敵を欺くにはまず味方から』
ええ、そうです。私がカルデアを介せず
直接お守りすればよいのだと。
影から子を見守る母のように。



勿論、母ですから♪

マスターの御身は
この命にかえてでも
母がお守りしますからね



これは母との
約束です。

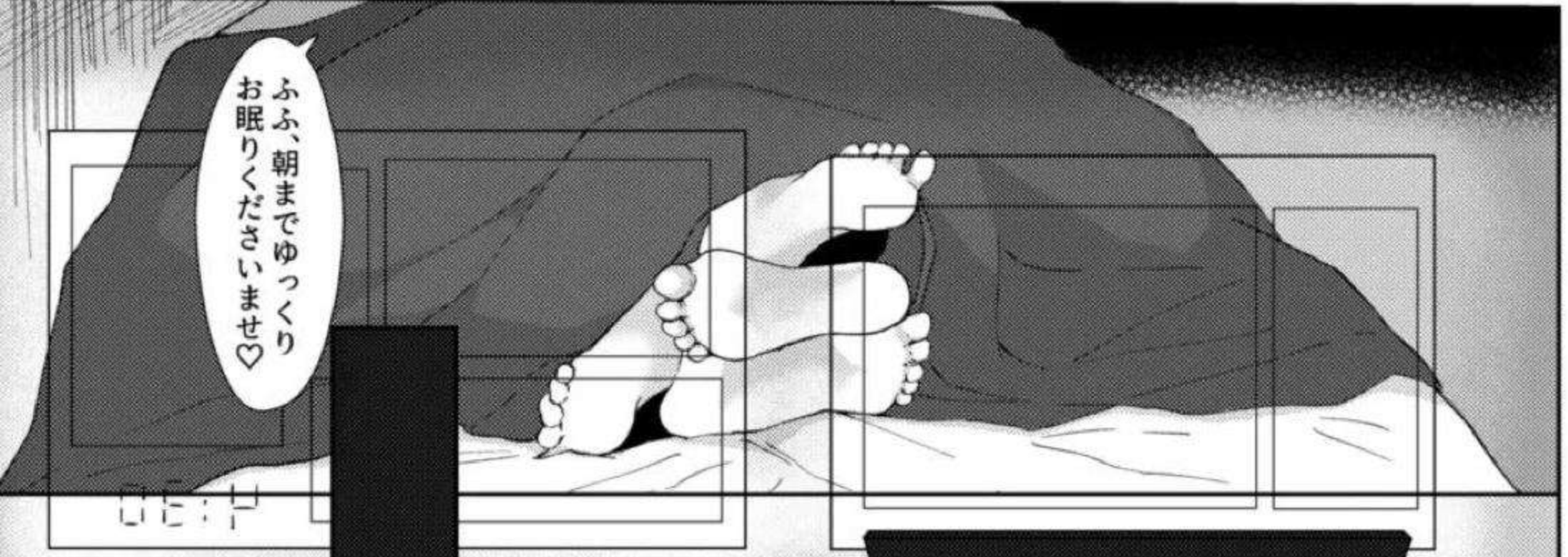
よろしいですか？
よろしいですね？



ただ、残念ながら
私の存在は些か
おぼろげなままです。

私がマスターの側に
居続けるためには、

毎夜マスターの魔力を
いただく必要があります♡



ふふ、朝までゆっくり
お眠りくださいませ♡

頼光つと秘密の

虚数 シカドウ
ポーター

潜航

Fräulein
Fräulein



Fräulein

R18



An illustration of a person's torso, showing the chest and upper abdomen. A green cloth is draped over the person's left shoulder and held by their left hand. A purple, braided cord is wrapped around the person's waist. The background is a dark blue, possibly a window or a wall. The text 'Fräulein' is overlaid on the image in a large, black, stylized font. Below it, the word 'Fräulein' is written in a smaller, simpler font.

Fräulein

Fräulein